

2011 年度日本災害復興学会大会 公開シンポジウム

東日本大震災からの復興をどう進めるか

明治大学専門職大学院ガバナンス研究科・東北再生支援プラットフォーム共催

<主 旨>

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、マグニチュード9.0の巨大地震が引き起こした巨大津波による広域巨大複合災害となり、その復興は過去の知見や経験に学ぶのみならず、新たな取り組みが不可欠となっている。

とくに沿岸部に連続する被災地では、県境を越えて地域をつないでいる鉄道や広域幹線道路などの整備を通じた、隣接する市町村の広域連携的な復興の取り組みも、持続可能な活力ある地域復興を実現していく上で重要になっている。

震災から半年を経て時点で、日本災害復興学会では、「広域避難・自主避難」「復興法制度」「復興まちづくり・市街地再生」「ボランティア」「生業再建・復興特区」「生活再建・仮設住宅」の6つのテーマで分科会を開催し、これまでの取り組みと今後のあり方に関して討議するとともに、その成果の報告を交えて、大船渡市、気仙沼市、南三陸町、石巻市、新地町の市長、町長をお招きし、災害復興学会長を交えて、過去の震災復興の経験と教訓をつなぎ、これからの東日本大震災からの復興をどのように進めていくのか、公開シンポジウムの場において英知の結集を図る。

<日 時> 2011年10月9日（日）

第一部 14:00～15:00（分科会報告）

第二部 15:30～17:30（パネディスカッション）

パネリスト

戸田 公明（大船渡市長）

菅原 茂（気仙沼市長）

佐藤 仁（南三陸町長）

亀山 紘（石巻市長・工学博士）

加藤 憲郎（新地町長）

室崎 益輝（日本災害復興学会会長：関西学院大学）

コーディネーター 中林 一樹（同学会副会長：明治大学）

<会 場> 明治大学リバティタワー1階 リバティホール（480名収容）

<入場者> 公開シンポジウムで、先着480名、無料。